

令和4年度 通学路合同点検の結果報告

日時:令和4年 10月 27日(木) 15:00~16:30

参加者:小平市役所 3名、小平警察署 1名、副校長先生、佐々木先生(地区担当)、地区委員長

点検箇所 1	東京街道さわやか館入口交差点
問題点	車が民家の塀に衝突する重大事故発生現場。車が歩道に突っ込まないように、対策強化を要望。
対策	①横断歩道周辺に3本ポールがあったが、事故後1本追加。今後、ポールに巻かれている黄色い反射テープの面積をさらに広くしていただくことになった。 ②東京街道からさわやか館方面に左折、右折する車に減速を促す目的で、「さわやか館入口」の看板の下に、注意喚起の看板をつける。看板はぶるべやコダレンジャーなどのイラストが入り、「減速してね」など、優しい言い方の文言にする予定。



点検箇所 2	花小金井5丁目郵便局の交差点
問題点	①マンションの植栽が伸びて大人の背丈ほどあり、植栽の陰で子どもが見えにくい。 ②横断歩道が消えかかっている。
対策	①学校からマンションの管理会社に連絡し、植栽の剪定をしてもらう。 ②横断歩道の塗り直しをする。



点検箇所 3	六中通り
問題点	①東京街道からの入口にある「止まれ」の文字が消えている。 ②東京街道からの入口にある看板の文字が消えてほぼ読めない。 ③道路の白線が片方消えている。 ④六中通り中ほどの横断歩道で一時停止をしていない車が多い。
対策	①「止まれ」の文字を塗りなおす。 ②古い看板は撤去する。「六中通り」と書かれた看板に、減速を促す看板を2か所設置する。 ③白線を塗りなおす。さらに、両サイド白線の内側に緑色の線を引く。 ④対策は市役所と警察が持ち帰り、引き続き検討する。



点検箇所 4	野中東通り
問題点	<p>青梅街道⇔東京街道⇔新青梅街道の抜け道となっているため、道幅が狭いにも関わらず通学時間帯の交通量が多い。白線と緑色の線が引いてあり、「児童注意」のペイントや減速を促す看板もすでに設置されているが、通学時間帯は学校へ向かう児童とスピードを出す自転車と、白線を超えてすれ違う車が混在して大変危険である。雨の日は交通量が増し、さらに子どもは傘で視界が狭くなっており、より危険である。</p> <p>現在、野中東通りから五小に通学する児童が多いが、来年度から調整区域ではなくなるため、十一小に通学する児童が増えると予想される。</p>
対策	<p>朝の通学時間帯にパトカーや白バイに走っていただく。青梅街道や東京街道を走る際には必ず野中東通りを通行し、車や自転車の減速を狙う。</p> <p>野中東通りは、車と自転車と歩行者がうまく譲り合いながら共存するしか方法がないのが現状である。</p>
実現するのが難しい対策	<p>① <u>ガードレールの設置。</u> 道幅が狭く、法律上設置できない。</p> <p>② <u>ガードパイプやポールの設置</u> これらを設置することにより対向車とのすれ違いが困難になり、速度は落ちるが、ガードパイプや車どうしの接触事故が増える可能性がある。</p> <p>③ <u>一方通行にする。</u> 地域住民とPTAの総意があれば可能だが、一方通行にすると土地の単価が下がることもあり、地域住民の総意を取るのが難しい。</p> <p>④ <u>スクールゾーンにする。</u>(例えば 7:30～8:30 は車の交通を規制する) スクールゾーン内に自宅や会社があるなど、規制時間内にやむを得ずスクールゾーン内を車で通らなくてはならない状況の方は、管轄の警察署に申請が必要。また、その申請も数年ごとに更新が必要であり、地域住民の総意を取るのが難しい。</p> <p>⑤ <u>コミュニティバス(ぶるべー号)の停留所を作る。</u> コミュニティバスは法定速度を遵守する。法定速度でバスが走行することにより、他の車も減速することが目的。地域住民が停留所の設置を希望すればバスを通すことも可能であるが、地域住民の総意を取るのが難しい。</p>



